

★RSY事務局便り★10月

台風12号の猛威・三重県紀宝町

2011年8月30日～9月6日、西日本から北日本の山沿いを中心に広い範囲で記録的な大雨が降りました。特に紀伊半島では広い範囲で1000mmを超える雨が。RSYは、常務理事・浦野が過去数年間災害ボランティア研修でおじゃましていた三重県紀宝町への支援を行うことを決定。名古屋市社協と共同でボランティアバスを派遣しました！



電柱にひっかかる草、2階まで浸水した様子…「一体どこまで水につかったのだろう」そんな気持ちになりました。9月15日に出発した第1陣はあちこちに積まれた流木や濡れた家具の回収、家屋内の掃除、泥だしなどに着手。多くの家が屋根裏まで水に浸かって、避難していた2週間の間に天井にカビが生え始めていたり、ひさしに流木がひっかかったままだったり、一刻も早い片づけ、清掃が必要だとうかがわせました。

★台風15号の来襲 この後、9月15～22日には台風15号が日本列島に大きな被害をもたらしました。その影響でトンネルの落石があり、紀宝町へのボラバスを断念する事態にもなりました。国道が1本道しかないという事実が、支援の手を遠ざけました。今後の課題です。名古屋にも避難勧告がでて、事務局スタッフも氾濫寸前の庄内川を横目にとりあえず帰宅…。9月30日から紀宝町へのボラバス派遣を再開しました！



最終的に、1～8陣のボランティアバスを派遣、ボランティアコーディネーターなごや、名古屋市社協スタッフの協力もあり105名が活動に参加しました。その後、当法人が支援を続ける宮城県七ヶ浜町のスタッフが「紀宝町のために何かしたい！」とカエルちゃんタオルを持って紀宝町を訪問。「わざわざ遠いのにな…」と被災地同士がつながる機会もできました！